

三次市行財政改革推進審議委員会 会議の要旨

1 日 時 平成 23 年 6 月 24 日(金) 9 時 30 分 ~ 11 時

2 場 所 三次市役所東館 2 階会議室

3 出席委員 野原会長，山田委員，湯藤委員，當天委員，今澤委員，村山委員，
森下委員，元吉委員

4 事務局 三次市地域振興部企画調整課企画調整係

出席者 藤井地域振興部長，山本企画調整課長，杉原企画調整係長，
宮脇企画調整係主任，大谷企画調整係主任

5 会議の内容

(1)次期三次市行財政改革大綱について

6 会議の資料名一覧

資料 1 次第

資料 2 行財政改革推進審議委員会 意見まとめ

資料 3 「三次市行財政改革大綱(案)」に関するご意見とそれに対する三次市の考え方

資料 4 行財政改革に関する提言書【平成 23 年 6 月 三次市議会】

資料 5 三次市行財政改革大綱(案)の提言の骨子

三次市行財政改革推進審議委員会 議事要旨

議事内容

次期三次市行財政改革大綱について

各委員から出された意見

- ・ 「新しい公共」のイメージが示されているが、行政の役割は管理・監督的な役割も必要である。行政でなければできない仕事(徴税事務等)の中に管理・監督の役割を示したらどうか
- ・ 数値目標を示す必要があるのではないか。尾道市は職員の削減数などを掲載していた。文章表現だけでは、市の決意みたいなものが感じられない。
- ・ どういうところで一般市民が三次市の行財政改革についての情報を得るのか。行財政改革について興味を持ってもらえるような工夫が必要である。
- ・ 身近な具体例が入ってないと市民からの理解も得られにくいのではないか。市民の見たい、知りたいところをポイントで示してはどうか。
- ・ パブリックコメントが2通しかないということだが、周知が足りないのではないか。行革は、市民にもっと関心を持ってもらうべきものであるので、表現の仕方とかを工夫してもらいたい。
- ・ 委員会として行財政改革を推進する意思表示が必要である。
- ・ 議会の定数問題が議会の中からあがったのは喜ばしいことだ。
- ・ 議員が減ることは周辺部出身の議員がいなくなる可能性がでてくる。定数ではなく、議員報酬削減の方が重要である。
- ・ 行財政改革の位置づけについて、イメージ図等で示す必要がある。
- ・ 「新しい公共」の構築で、前半部分では「今まで行政がやってきたことに民が入って協働する」という定義がされており、後半部分ではもっと広義な意味で「新しい公共」が捉えられているので整合性が必要である。

- ・ 市政懇談会でこの行財政改革をどの程度説明していくのか。三次市のホームページには、もっと分かりやすいところに掲載すべきである。
- ・ 三次市の財政状況を考えると先手を打った行財政改革を行わないといけない。前回の行財政改革大綱をスライドさせたものでは物足りない。
- ・ この大綱の検証はどこが行うのか。数値目標について、担当課、企画調整課で検証した後にこの審議会で検証してはどうか。
- ・ このような審議会等についての委員の日当のあり方、金額についても見直しが必要ではないか。